

# 麒麟のまち圏域 エリア紹介

**鳥取市**  
Tottori-shi

鳥取市は県都として、圏域の政治、経済、文化の中心的役割を担っており、鳥取砂丘をはじめとする「山陰海岸ジオパーク」は、「ユネスコ世界ジオパーク」に認定され、鳥取城跡、白兔海岸など歴史・文化が息づくスポットや、「砂丘らっきょう」、「松葉ガニ」等の多様な「食」、鳥取・吉岡・浜村・鹿野に湧く「温泉」を楽しむことができます。

近年は「鳥取自動車道」の開通や砂の彫刻を常設展示する「鳥取砂丘砂の美術館」がオープンし、多くの観光客で賑わっています。





**岩美町**  
Iwami-cho

岩美町は海と山と温泉のまちで、日本海の東西約15kmにわたるリアス式海岸は「浦富海岸」と呼ばれ、「山陰海岸国立公園」に指定されているほか、「山陰海岸ジオパーク」の一部でもあり、断崖絶壁、洞門、洞窟、奇岩の中に白砂青松の渚が点在し、透明度が高く、海水浴やシュノーケル、シーカヤック等を楽しむことができます。

また、山陰最古級の温泉「岩井温泉」は、頭に手拭いをのせ、唄を歌いながら柄杓で湯をかける「湯かむり」という独特の風習が残る山陰の秘湯です。




**若桜町**  
Wakasa-cho

若桜町は、「氷ノ山」を代表とする1000m級の山々に囲まれた緑と清流のまちで、登山やスキー等のレジャーを楽しむことができます。

まちには「蔵通り・カリヤ通り」など情緒あふれる町並みや国指定文化財の若桜鬼ヶ城跡や岩窟にそびえる「不動院岩屋堂」があるほか、SLやSLを回す手動式の駅舎、給水塔がある若桜駅をはじめ、昭和初期の駅舎が残る「若桜鉄道」は、全国ではじめて沿線23施設が「一括」で国登録有形文化財に登録され、近代化遺産として人気のスポットになっています。




**お問い合わせ先**  
鳥取市企画推進部文化交流課  
〒680-8571 鳥取市尚徳町116 TEL:0857-20-3226  
e-mail:bunka@city.tottori.lg.jp

企画協力/鳥取県、鳥取・因幡観光ネットワーク協議会



**智頭町**  
Chizu-cho

智頭町は総面積の93%が森林に囲まれたまちで、江戸時代には交通の要衝として栄え、国登録有形文化財の「石谷家住宅」をはじめとする町屋や酒蔵など「智頭宿」の町並みや「芦津深谷」など屈指の深谷美、日本の原風景が残る「板井原集落」などは、宿場町の面影と日本の原風景が息づく地といえます。

近年は森の持つ癒し効果に着目し、運動、リラクゼーションなど保養効果を高める一歩進んだ森林浴が楽しめる「森林セラピー®」を中心とした癒しの里づくりを進めています。




**八頭町**  
Yazu-cho

八頭町は「安徳の里姫路公園」や「船岡竹林公園」、「八束ふるりの森」など、山々の大自然を満喫できるほか、「因幡の白兔伝説」ゆかりの地として、由緒ある社寺が点在するなど、歴史・文化に溢れたまちです。

秋には、花御所柿や西条柿、梨、りんご等が楽しめる、「フルーツのまち」として親しまれています。

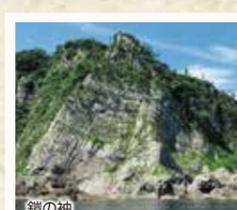
近年は若桜鉄道の「単駅」がオートバイ「ハヤブサ」の愛好者の聖地として注目を集め、昭和初期の懐かしさが残るローカル線を生かしたまちづくりを進めています。




**香美町**  
Kami-cho

香美町は海と山に囲まれた自然豊かなまちで、「山陰海岸ジオパーク」の一部を構成し、天然記念物の「鎧の袖」や「かえる島」など貴重な地質遺産が広がり、日本の夕日百選の「香住海岸の夕陽や冬の味覚の王者、松葉ガニ」等を楽しむことができます。

また、大樹が息づく山々には、日本の滝百選の「猿尾滝」や「棚田」が広がり、キャンプやスキー等のアウトドア・スポーツ、高級ブランド「但馬牛」など、四季を通じて多彩な景観、食材を楽しむことができます。

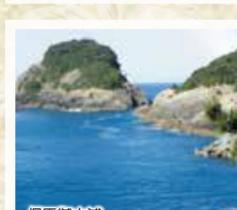



**新温泉町**  
Shinonsen-cho

新温泉町は北は日本海、内陸部は1000m級の山々に囲まれたまちで、「山陰海岸ジオパーク」の一部を構成する豊かな自然環境に恵まれています。

日本海側は天然記念物の「但馬御火浦」や「浜坂海岸」をはじめとする海岸線の景観美が特徴で、内陸側にはドラマ「夢千代日記」の舞台となった「湯村温泉」があり、「荒湯」と呼ばれる湯つぼでは98度の高温泉が湧出しています。

また「但馬牛」や「松葉ガニ」など高級ブランドと称される山海の幸を楽しむことができます。




# 霊獣・麒麟獅子

〜因幡・但馬の神話的世界〜



宇倍神社の麒麟獅子舞(鳥取市)

# 但馬の代表的な麒麟獅子舞



宇都野神社の麒麟獅子舞 (新温泉町)



三尾の麒麟獅子舞 (新温泉町)



居組の麒麟獅子舞 (新温泉町)



鎧の麒麟獅子舞 (香美町)

## 〔解説〕

昭和47年に、新温泉町の宇都野神社(浜坂)、居組、三尾の3ヶ所の麒麟獅子舞が県の重要無形民俗文化財に指定されています。  
但馬の麒麟獅子舞は、太鼓、笛、ジャンジャン(銅拍子)を用いた軽快な囃子等に特色があり、一頭または二頭で舞われ、因幡地方と比べテンポが速く、ジャンジャンが賑やかに打たれるという異なった伝承が見られます。

## 麒麟獅子舞が行われる時期と場所

多くは春と秋に、神社の祭礼において、神前で本舞を奉納するほか、氏子の家々を門付けしてまわります。そのため、3月から7月、9月から11月にかけて、様々なところで麒麟獅子舞を見ることが出来ます。祭りになると、獅子に頭を噛んでもらう習慣が根付いており、子どもは賢くなり、大人は1年間無病息災だと言い伝えられています。



## 麒麟のまち圏域

―因幡(鳥取県東部)・但馬(兵庫県北但西部)圏域―

因幡(鳥取県東部)・但馬(兵庫県北但西部)圏域(鳥取県鳥取市・岩美町・若桜町・智頭町・八頭町、兵庫県香美町・新温泉町)は、古くから歴史や文化、生活圏を共有し、山陰海岸ジオパークと中国山地に囲まれるなど、豊かな自然と山海の幸に恵まれた地域です。

麒麟獅子舞はこの地域に伝播している重要な民俗文化財であり、霊獣麒麟が息づくこの地域を「麒麟のまち」圏域と呼び、観光や移住定住など様々な分野で連携し、魅力ある圏域づくりに取り組んでいます。



## 麒麟獅子舞

鳥取藩主池田光仲が、慶安3年(1650年)に鳥取の樗谿に日光東照宮の御神霊を祀る鳥取東照宮を建立し、承応元年(1652年)に、その祭礼の行列に麒麟獅子舞を登場させたのが始まりと考えられています。

麒麟は、優れた政治を行うとその徳を慕って出現するとされる中国の想像上の動物です。祭礼行列で登場する神楽獅子の頭を麒麟に変えたのは、光仲が曾祖父徳川家康のような立派な政治を行うことの決意表明であり、自身が家康の曾孫であることを知らしめるためだと考えられています。獅子のあやしげな狸々しじょうじょうは、能の「狸々」に登場する中国の想像上の動物で、能を愛好した光仲が能からヒントを得て取り入れたものと考えられています。

## 芸能

麒麟獅子舞は霊獣麒麟をかたどった獅子頭を被り、胴幕に大人二人が入って舞う二人立ちの獅子舞で、多くは一頭で舞われ、地を這うようにゆっくり頭を回したり、ひねったり、伸び上がるような動作が特徴的です。

麒麟獅子舞の頭は面長で、額に角、直立した両耳を持ち、ねむり獅子の異名があるようにまなこを閉じており、鼻の穴は天上に大きく開き、どことなくユーモラスな表情となっています。

また、獅子舞には、天狗等の獅子のあやしげがつきまですが、麒麟獅子舞は、赤い面・衣装・髪「狸々」がつくのが特徴で、長さ1.5mほどの赤い棒を持ち、麒麟獅子を先導したり、緩やかな動きで舞ったりします。

## 北海道に伝承する麒麟獅子舞

の動物で、能を愛好した光仲が能からヒントを得て取り入れたものと考えられています。以来、東照宮の祭礼には必ず麒麟獅子舞を登場させ、その獅子舞を指揮・監督する「獅子庄屋」を任命していますが、こうした藩の姿勢から、因幡・因幡二つおよび但馬地方、そして鳥取からの移住者が多かった北海道の釧路市や利尻町等にも麒麟獅子舞が広がることとなったと考えられ、現在では休止分も含めると約180の伝承が確認されています。

平成21年3月には「因幡の麒麟獅子舞」および「但馬の麒麟獅子舞」全体が、国の記録作成等を講ずべき無形の民俗文化財に選択されました。

# 因幡の代表的な麒麟獅子舞



倉田八幡宮の麒麟獅子舞 (鳥取市)



賀露神社の麒麟獅子舞 (鳥取市)



岩井御湯神社の麒麟獅子舞 (岩美町)



若桜神社の麒麟獅子舞 (若桜町)



五井神社の麒麟獅子舞 (智頭町)



澤神社の麒麟獅子舞 (八頭町)

## 〔解説〕

昭和34年に大和佐美命神社(鳥取市上砂見・中砂見)、宇倍神社(鳥取市国府町)、平成10年に下味野神社(鳥取市下味野)、倉田八幡宮(鳥取市蔵田)、賀露神社(鳥取市賀露町)、五井神社(智頭町大邑)、澤神社(八頭町才代)の7ヶ所の麒麟獅子舞が県の無形民俗文化財に指定されています。

因幡の麒麟獅子舞は、太鼓、笛、鉦を用いたゆるやかな囃子等に特色があり、一頭で舞われ、但馬地方と比べテンポが緩やかで、鉦が穏やかに打たれるという異なった伝承が見られます。



釧路鳥取きりん獅子舞 (釧路市)